

無理難題の小学校英語



今年4月から新学習指導要領の移行措置が始まりました。

「大阪教育文化センター・授業づくり研究会」では、現場で一番困るのは、教科としての英語ではないかと話し合い、5月13日、一度指導書どおりに英語の模擬授業をやってみることにしました。

5年生の教材を使って

まずは、文科省HPから、高学年の英語教材の「We Can!」5年生版をダウンロードし、参加者に配りました。

授業者（以下「先生」と略）は、中学校・英語の免許を持っています。先生には、指導書をこれも文部科学省のHPからダウンロードして渡しました。初見ですが、さすが英語免許を持っている先生。指導書にしっかり目を通して、「さあ、やってみましょう」とはじまりました。

最初の単元は、「Hello, everyone.」です。この単元は、「Let's Watch and Think」とされていて、実際は映像を見てナレーションをヒアリングして教師と子どもがやりとりをするものですが、映像がないので、先生に英語で話してもらいます。

教材の最初の写真はノーベル賞を受賞した山中伸弥さんです。先生の流暢な英語が響きます。「Dr. Yamanaka Shinya is a professor at Kyoto University. He received Nobel Prize in 2012. He studies about IPS cells.」

必死に聞く参加者

「へー。ドクター山中やねんな」「ノーベル賞の『賞』はプライズか」などというつぶやきが漏れます。みんな小学5年生になりきっています。「いきなり過去形が出てくるの?」「難しいなあ。5年生、これ聴き取れるやろか?」これは、教師としてのつぶやきです。

模擬授業をしました

次の写真は、女子サッカー選手の川澄奈穂美さんです。山中さんは、さすがにノーベル賞受賞者なので、みんなよく知っていますが、川澄さんについては、「えー、どんな人やったかな?」などの声が聞こえます。

続いて先生、「Kawasumi Nahomi is a pro-soccer player. She won the World Cup and she also got a silver medal in the Olympic Games as a member of Nadeshiko Japan. Now she is playing for Seattle Reign FC in America.」

先生が日本語で

聞いてくれます。「川澄さんは、何で勝ったの?」「ワールドカップや」「そうですね。それだけ?」「オリンピックでもシルバーメダルっていうたから、銀メダルをとったんや」「そうですね。いま川澄さんはどうしてますか?」「ごめん、もう一回読んで」の声にこたえて、先生「Now she is playing for Seattle Reign FC in America.」

「ああ、いまはアメリカのシアトルでサッカーやってんねんな」「そうですね」と優しく答えてくれます。

その後、トライアスリートの谷真海さんや卓球選手の石川佳純さん等と続きます。すると、「疲れた。休憩しよ」の声。10分間の休憩です。

休憩後、友だちとのやりとりです。「What do you like」に対して「I like」と答えます。尋ねるのは「色」「食べ物」「テレビ番組」「スポーツ」です。「みんなでやってみましょう」の声で、隣の人に尋ねます。「What colors do you like?」「I like red」「I like green」などのやりとりが聞こえます。「What foods do you like?」「I like sushi.」「I like karaage.」というのがあります。「から揚げって、英

語ではフライドチキンと違うの?」と日本語でやりとり。「What TV programs do you like?」「What sports do you like?」とひとしきりやりとり。ここで、「疲れた」の声。もう一度休憩です。

参加者の感想 小学校から 差ができる?!

休憩の後は、模擬授業を受けてみての感想交流と意見交換です。

「あらためて難しいなあと思った」

「小学校段階から、英語での格差が大きく開くのではないかと心配」

「忘れたとはいえ、英語教育をひとりひとり受けてきた我々でも、これだけ疲れるのだから、子どもたちはもっと大変なのではないだろうか」

「移行措置段階は何とかこなせても、本格実施では評価がついてくる。単語テストもしなければならない。『できる』『できない』がはっきりしてしまう。

小学校で英語を『できない』と思い込まされたら、そういう子を受け入れる中学校の先生も大変」

授業者より

中学校英語の免許はあるが、英語はつまずいた。中学校英語を学びなおした。

今日の授業は、5年生のテキストを使ったが、内容は「外国語活動」のレベルだと思う。などの意見が出されました。

次回は、高槻市で高学年を担当している方から、高学年の英語授業の実際について、みんなで研究します。

6月24日(日)
午後3時～
「たかつガーデン」
403号室

